令和５年３月
世田谷区立二子玉川小学校
校長　今福　眞和

前年度の改善方策について実行した改善結果

前年度の改善方策について、改善結果を報告いたします。

１　児童・教職員・保護者・地域が「笑顔と元気と優しさあふれる学校」を共通の目標とした教育活動の実践

【改善結果】

「笑顔と元気と優しさあふれる学校」をめざして教育活動をおこなっていくことを児童・教職員・保護者・地域が共に意識することができるように、全校朝会や保護者会、学校だより等で周知をしてきた。学校関係者評価の結果にも児童が「笑顔と元気と優しさあふれる学校」を認知し、生活していることが表れていた。今後は、保護者、地域の方々にもさらに理解していただくよう丁寧な説明をしていく。

２　キャリア教育に向けた区内中学校との連携について

【改善結果】

コロナ禍でできる範囲ではあったが、学び舎の中学生にキャリア教育の一環として、５・６年生に講話をしてもらう機会を設定することができた。自分の体験を踏まえ、将来の進路選択に向けた講話に児童は高い関心をもつことができた。

３　児童の「自ら学ぶ力」を伸長させるための「探究的な学び」の実践

【改善結果】

校内研究テーマを「課題に向き合い自ら考える子　―探究的な学びを通して―」とし、児童の探究的な学びの実現をめざした授業づくりについて研究、研修を行い、実践をしてきた。児童が探究する授業づくりに向けた授業改善をおこなっている。次年度も継続して研究、研修を行い、授業改善をおこなっていく。

４　授業力向上に向けた校内 OJT 研修の充実

【改善結果】

職員会議の後に OJT 研修タイムを設定し、各教職員が講師となり得意分野や担当分野に関する研修を実施した。即実践できる内容が中心であったため、教職員が関心高く主体的に参加し、授業力向上につながった。次年度はこの OJT 研修をさらに充実させていきたい。